

薬の豆知識



小児の薬の飲ませ方・使い方

☆ のみぐすりの回数と時間について

- 小児の場合、特に乳幼児では満腹になると薬がのませにくくなります。【食後】服用になっていても、一般的に食前ないし食事と食事の合間にのませてもかまいません。食前にのむ事による胃腸障害はまず心配ないでしょう。
- 頓服薬としてでる場合が多々ありますが、【頓服】とは、指示された症状がでた時だけ使用する事です。例えば、熱がでた時、咳がひどい時などです。ただし、1日に何回まで使用して良いのか、何時間間隔をあげれば良いのかは医師の指示に従って下さい。

＜頓用のうち特に解熱剤の使い方＞

だいたい目安として、38.5度以上の発熱時に使用して下さい。薬の次の使用は少なくとも6時間はあけて下さい。熱がなかなか下がらなかった場合は、薄着にしたり、部屋を涼しくしたり、また氷枕を使うなどして対処して下さい。なお、水分をなるべく与えるようにしましょう。

☆ こんな時どうする？ Q&A

Q1：薬を服用後、吐いてしまった場合はどうすれば良いの？

A1：原則として追加しないで下さい。ただし、のんだ直後、ほとんど吐いてしまったと思われる場合ならば、もう一度、同じ量をのませて下さい。

Q2：服用時に薬をこぼした場合はどうすれば良いの？

A2：原則として追加しませんが、こぼした量がはっきりと分かる時だけ、その量をのませなおします。

Q3：薬を飲み忘れた場合はどうすれば良いの？

A3：薬は1日単位で必要な量を服用すれば良いので、あまり食事にこだわらず、多少時間がずれた程度なら、その場でのませます。ただし、前回に忘れた分まで、次回一緒にのませてはいけません。

Q4：薬を服用後、ひどい下痢・発疹などがでた場合はどうすれば良いの？

A4：薬によるものだと断定できませんが、気がついた時点で服用をみあわせて、小児科にご連絡下さい。

＜ちょこっとアドバイス＞

薬をのませる時は、お子さんにも分かる言葉で飲む理由を話しましょう。またのめた時には誉めてあげましょう。



☆水剤(シロップ剤)の飲ませ方

- 飲ませる前に容器をしずかに振ってまぜてから、ラベルに書かれている番号(容器についている番号)の1目盛分、または指示された1回量をキャップ以外の容器にとります。むせないように気をつけて、スポイトで口の奥のほうに入れて飲ませたり、さじで少量ずつ流し込むようにすると飲ませやすいです。
- 当院では投与期間が8日以上の場合は、水を加えないで薬の原液のみ容器に入っています。容器の目盛に貼ってあるシール(矢印)のさしてあるところまで水を加えてから、軽くまぜ、1回に1目盛分ずつ飲ませて下さい。このように容器が2本以上になる場合は、1本の容器を

水で薄め、それを全部飲み終えてから2本目を水で薄めて飲むようにしましょう。薄めた方の容器にマジック等で印をつけておくと間違いがありません。

- 薬によっては原液のまま飲めばよいものもあります。詳しくは薬袋または容器に貼ってあるラベルの指示に従って下さい。残った薬は冷蔵庫で保管しましょう。

☆ 散剤(粉薬)の飲ませ方

＜新生児～乳児期の場合＞

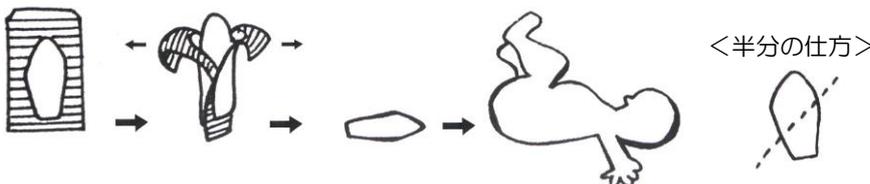
少量の水またはぬるま湯で1回分の散剤を練り、清潔な指で頬の内側か上顎にこすりつけて、すぐに水などを飲ませて下さい。ミルクに混ぜるとミルク嫌いになると困るので避けて下さい。

＜幼児期の場合＞

そのままのめない場合は、1回分ずつならば水またはぬるま湯を加えるか、一緒に処方されている水剤があれば、飲ませる直前にそれと混ぜても構いません。どうしても嫌がる時は子供の好きなものに混ぜても構いません。少なめの砂糖水、ジュース、アイスクリームなどが適当ですが、薬によっては、薬の効果に影響がでたり、苦味が増したりする場合がありますので薬を受け取る際に確認しておくとういでしょう。粘度が高く味の濃い食品(チョコレート、コンデンスミルク、ミルクココア、水ようかんなど)は薬の苦味を隠すのに適しています。説明書がついている場合はよく読んでから飲ませましょう。

☆ 坐薬の使い方

- 手を清潔にしてから包装から取り出し、とがっているほうから肛門に充分深く入れティッシュなどで4～5秒押さえて下さい。冷所で保存してある場合は、溶けない程度に手のひらで冷たさを取り除いて下さい。
- 挿入時の刺激で便意をもよおすこともあるので、できるだけ排便をすませてから挿入して下さい。挿入直後に形がそのまま残っている坐薬がでてしまったときは挿入し直して下さい。溶けて形のないものがでてきたときは、すぐに追加せず4～6時間あけて様子を見て下さい。
- 1回に1/2個などと分割の指示がある場合は、きれいなカッターで包装ごと切り、とがった部分を清潔な手で溶かし、丸めて挿入して下さい。
- 異なる薬効の坐薬を使用する場合は、30分程度の間隔をあけて使用して下さい。
- 坐薬は飲み薬と同等か、時にはそれ以上の有効性を発揮することができます。指示された用法、用量をよく守ることはもちろんのこと、使用に際して何かわからないことがあれば、医師または薬剤師にたずねるようにして下さい。



☆ 塗り薬の使い方

- 薬を塗る前にはお母さんの手と患部を清潔にしましょう。お母さんの手は石鹸で洗い、赤ちゃんの体やおしりはシャワーか座浴で汗や汚れを洗い流したり、顔などは清浄綿で軽く拭くなどしてきれいにしましょう。
- 塗り方や薬の量は、症状や処方された薬、塗る場所によって違います。『よくすりこむ』、『厚めに塗る』など医師の指示を守りましょう。薬は指の腹にとり、基本的には薄くやさしくのばしてあげましょう。顔にぬる場合は、目のまわりはさけます。

☆ 目薬の使い方

- 小児に目薬をさすときは、目のまん中ではなく目頭のくぼみに落とすようにするとまばたきをしたあとに適量が目全体に行き渡ります。目薬をどうしても嫌がる時は眠っているときにさすとよいようです。ぐっすり眠っているときに手早くさして軽くまぶたをあげると、目に薬が行き渡ります。

